

# コベルコクレーン



売上高

△25.8%

409億円

経常利益

△25億円

△13億円

## 2010年度の概況

コベルコクレーン(株)では、アジアの一部地域を除き需要が低迷したことから、販売台数は2009年度を下回りました。

この結果、2010年度の売上高は2009年度比25.8%減の409億円となり、経常損益は、2009年度に比べ25億円減益の13億円の損失となりました。

	億円		増減率
	2009年度	2010年度	
売上高	552	409	△25.8%
経常損益	12	△13	—

## TOPICS

### クローラクレーン事業、中国進出

2010年3月、世界最大のクローラクレーン市場である中国への取り組みを強化するため、同市場で現地生産を開始することを決定しました。日本のクローラクレーンメーカーとしては、中国における初の現地生産となり、2015年には中国市場における需要の約7%にあたる年間80台の生産を目指します。これにより、当社グループは、巨大市場である中国とインドの双方で、油圧ショベルとクローラクレーンを生産する世界で初めてのメーカーとなります。



### クローラクレーン、インド新工場建設の起工式実施

2011年3月、コベルコクレーン(株)は、インド、アンドラ・プラデッシュ州においてクローラクレーン新工場の起工式を実施しました。新工場は、同社にとって初の海外生産拠点となり、日米欧の移動式クレーンメーカーとしても初めて、インドに独資でクローラクレーンの専用工場を所有することになります。2011年11月より生産を開始する予定としており、今後、更なる需要拡大が期待されるインド市場において、現地生産によるメリットを最大限に活かし、一層の需要取り込みとプレゼンス確立を図っていきます。



### 世界三大建設機械展、「CONEXPO2011」に出展

2011年3月、世界三大建設機械展の一つであり、全米最大規模の「CONEXPO2011」がラスベガスで開催されました。世界150カ国から2,400社以上が出展、12万人の来場者を迎える中、新規制対応エンジンを搭載した北米新モデル「CK-Gシリーズ」を発表、CK1100G、CK2750Gの2台を展示し、それぞれ来場者の大きな関心を集めました。

